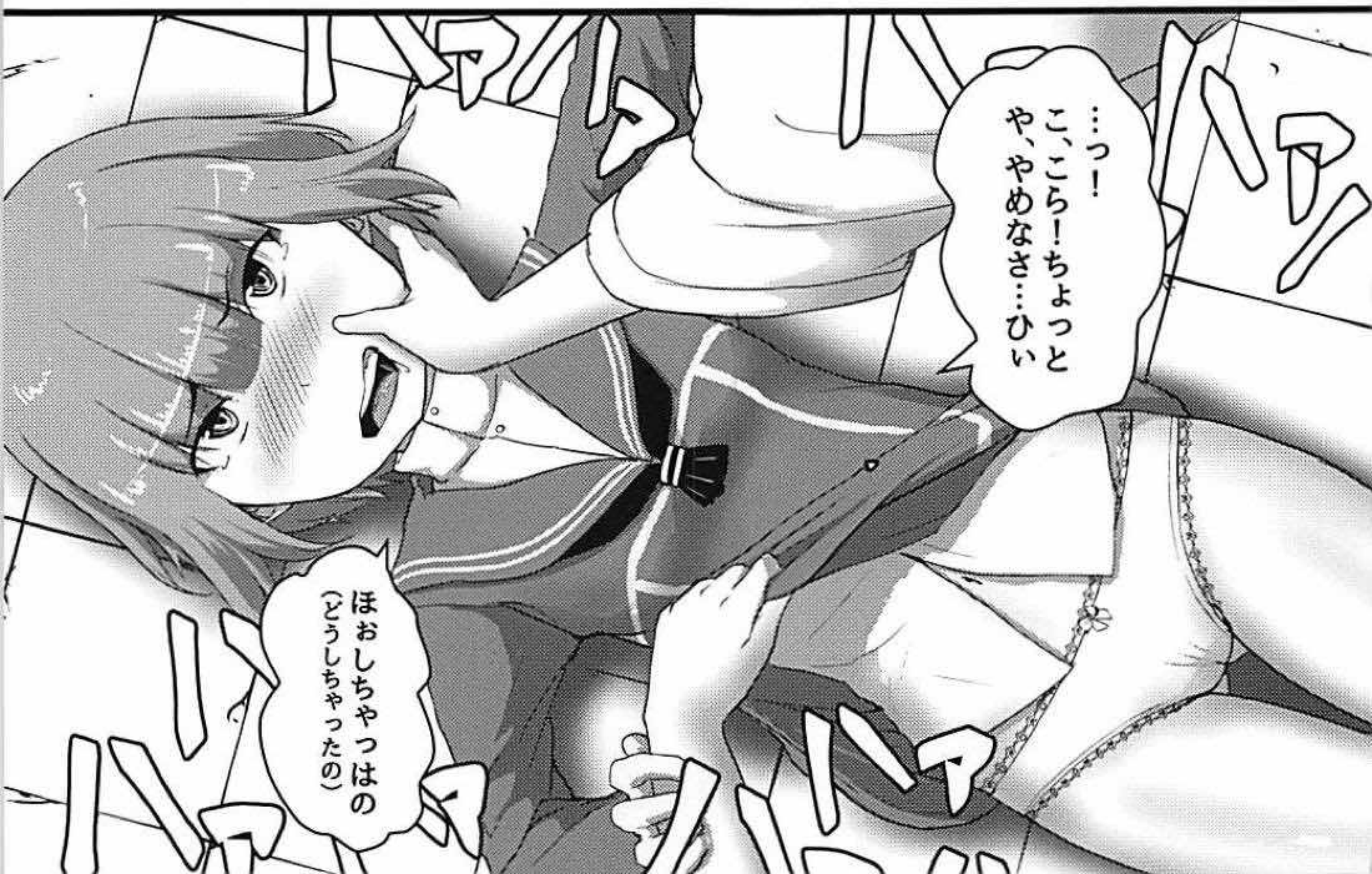




U M A X X

ユーマックス

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止





ねえ



.....



もとはと言えばあんたのせいよ
こんなに遠くまできて
手ぶらで帰れって言うの？

なんでこんなもん
持ち帰らないと
いけないのよ



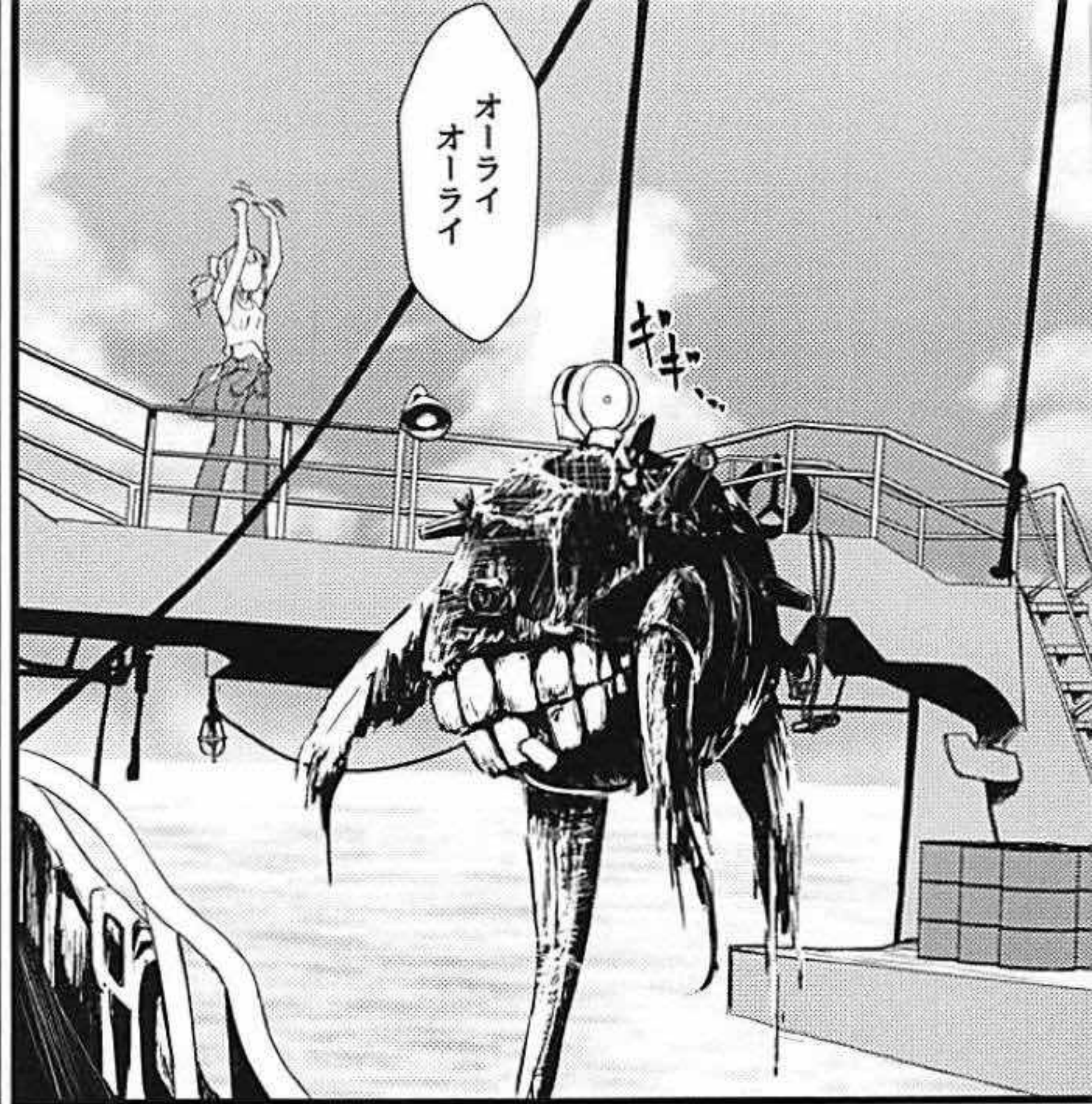
だからってよくわかんない
深海樓艦のパーツ
持って帰らなくても...

でかいし...



ぼやっとしていて
遠征用のドラム缶を
全部落っこすやつが
どこにいるのよ



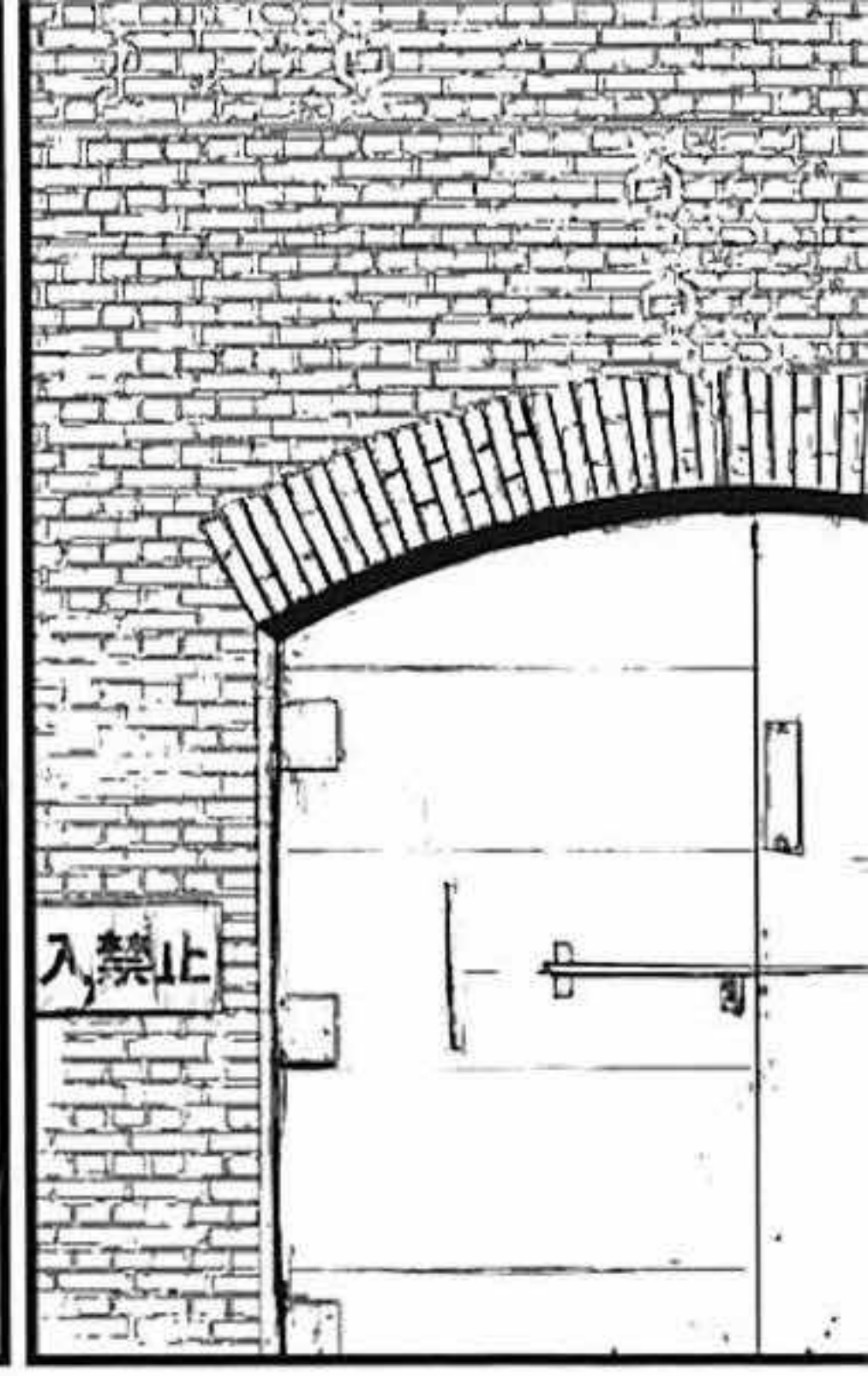




もうあれから
3日でしょ？

なんだか私たちが
悪いことしてるみたいで
耐えられないわ

そうは言ってもねえ…
深海棲艦の中から
出てきたんじや
野放しにはできないし



今もきつと暗闇で
震えているわよ

ううん…



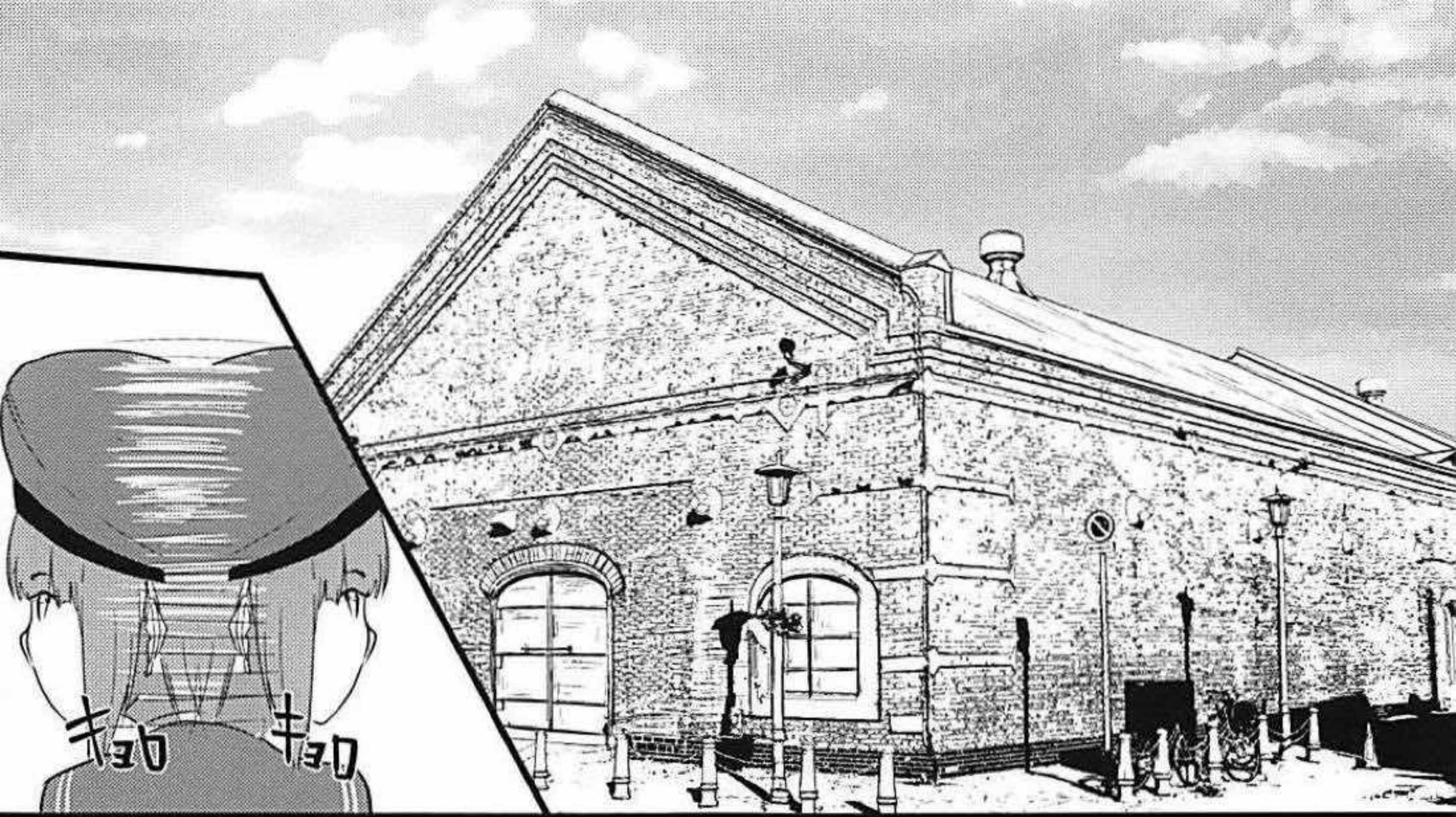
でも、あんなところに
閉じ込めっぱなしなんて!!

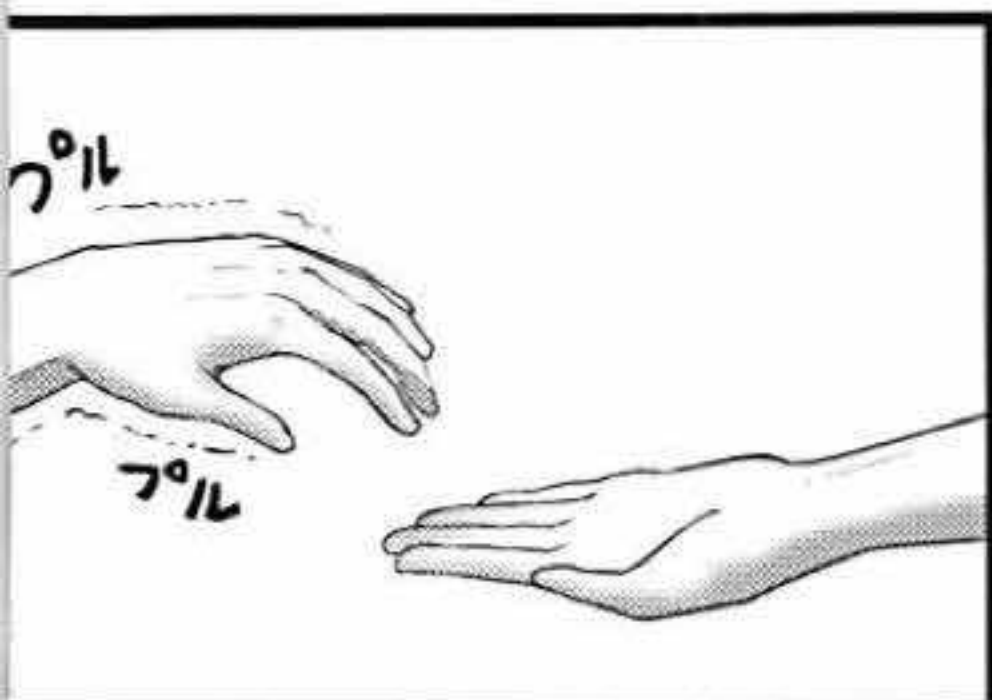


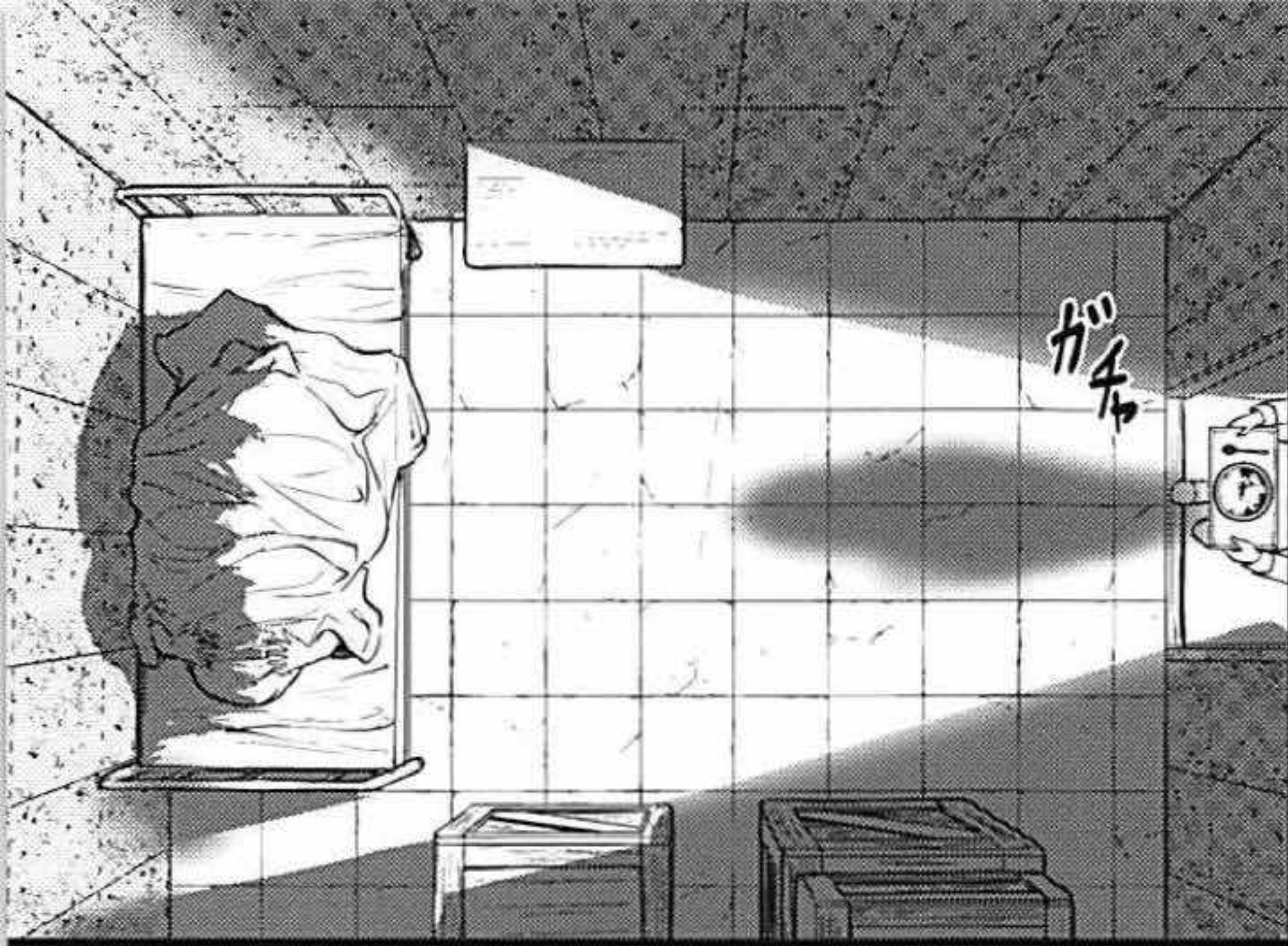
知能レベルだって5、6歳の
子供って話でしょ
あんまりだわ…

そう言ってもねえ
私じやどうしようも
ないしな

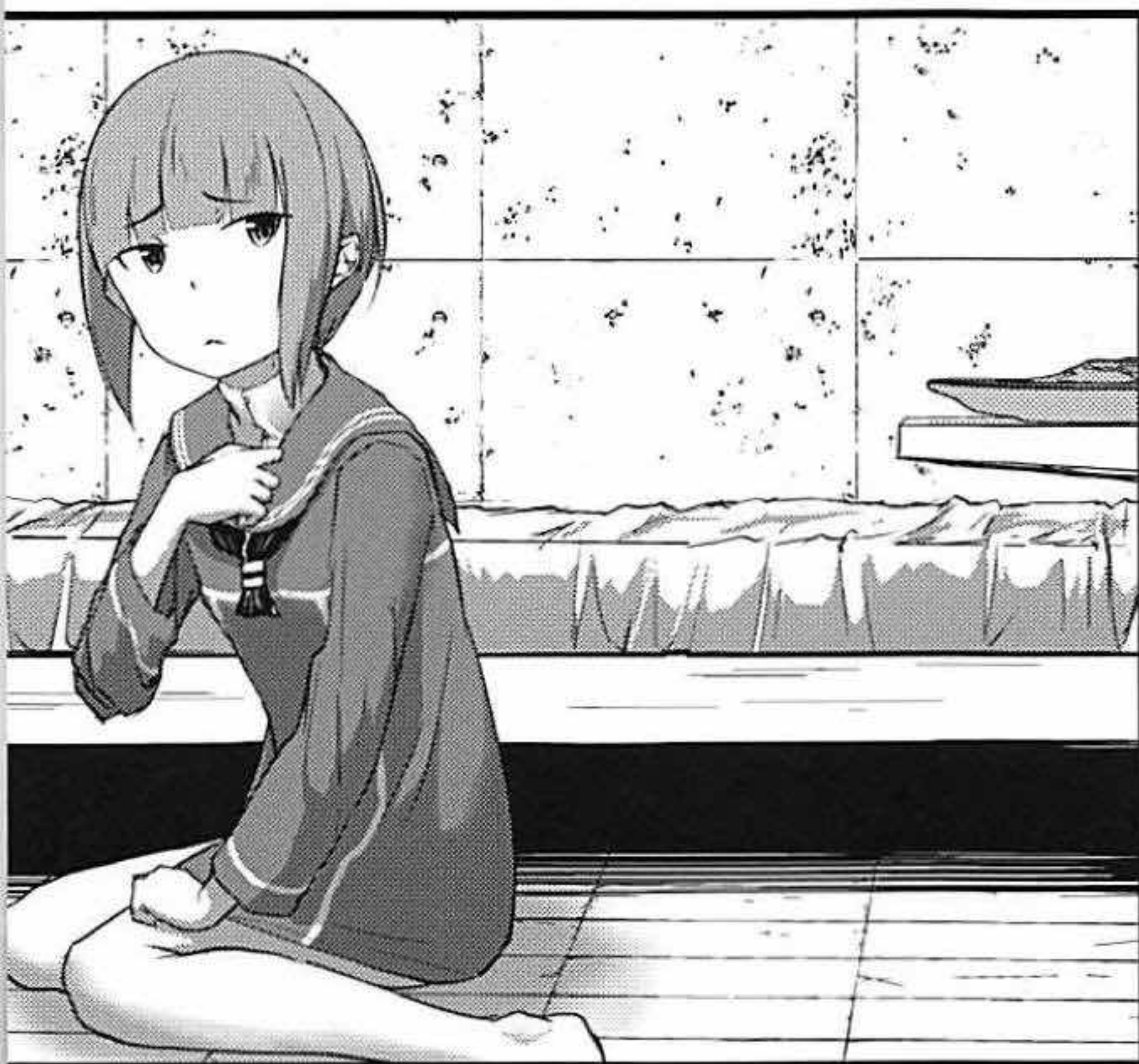
…







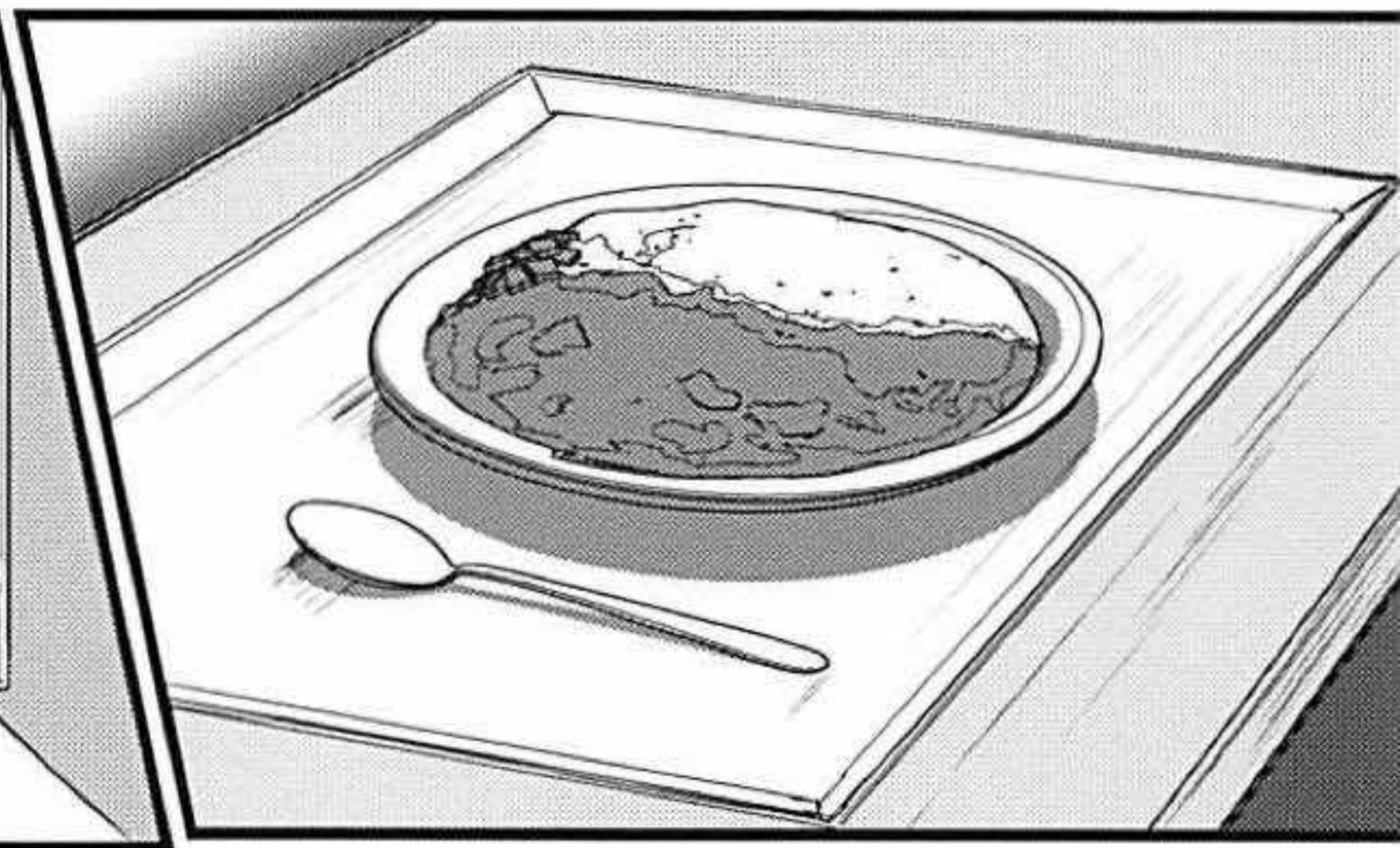
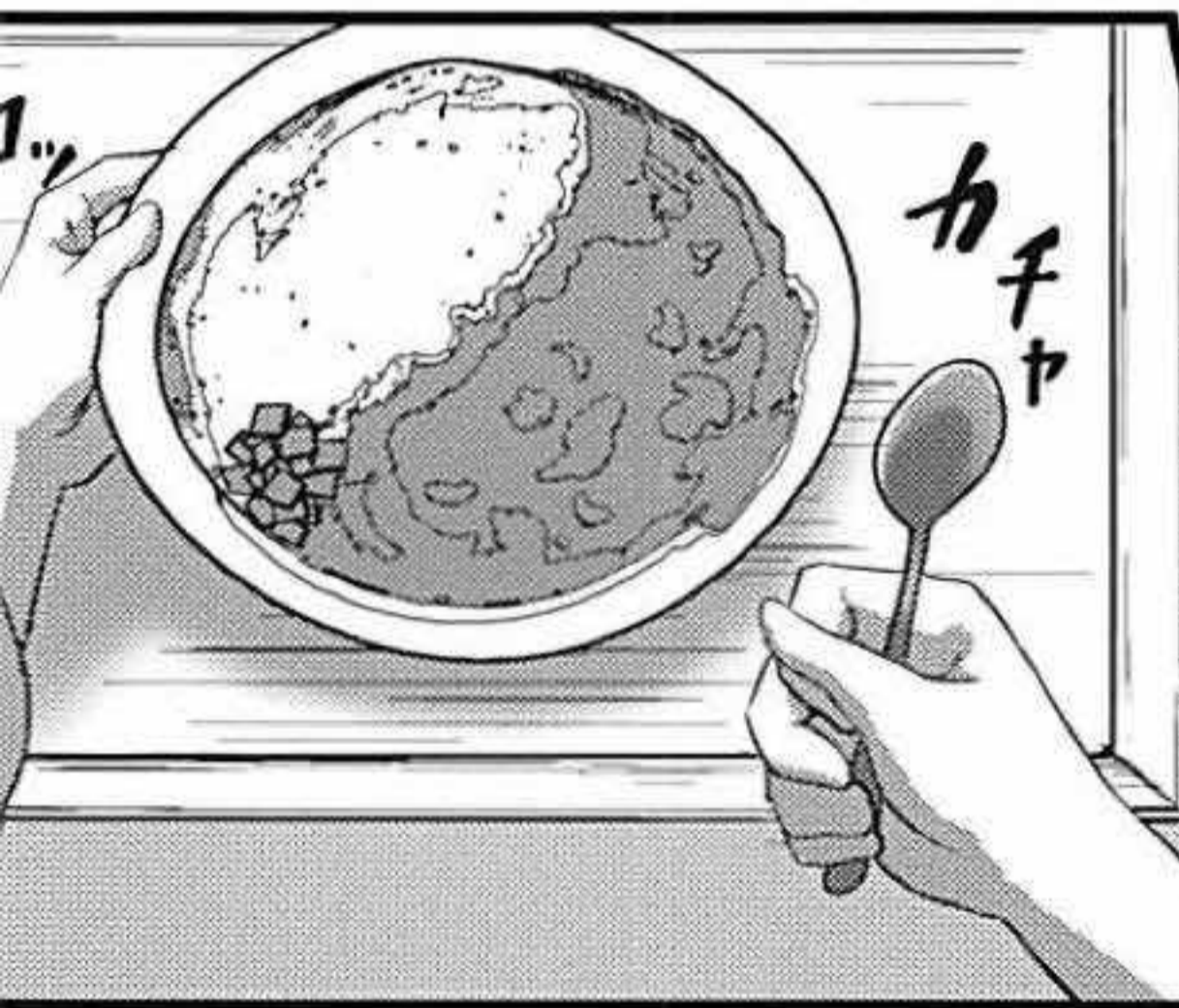


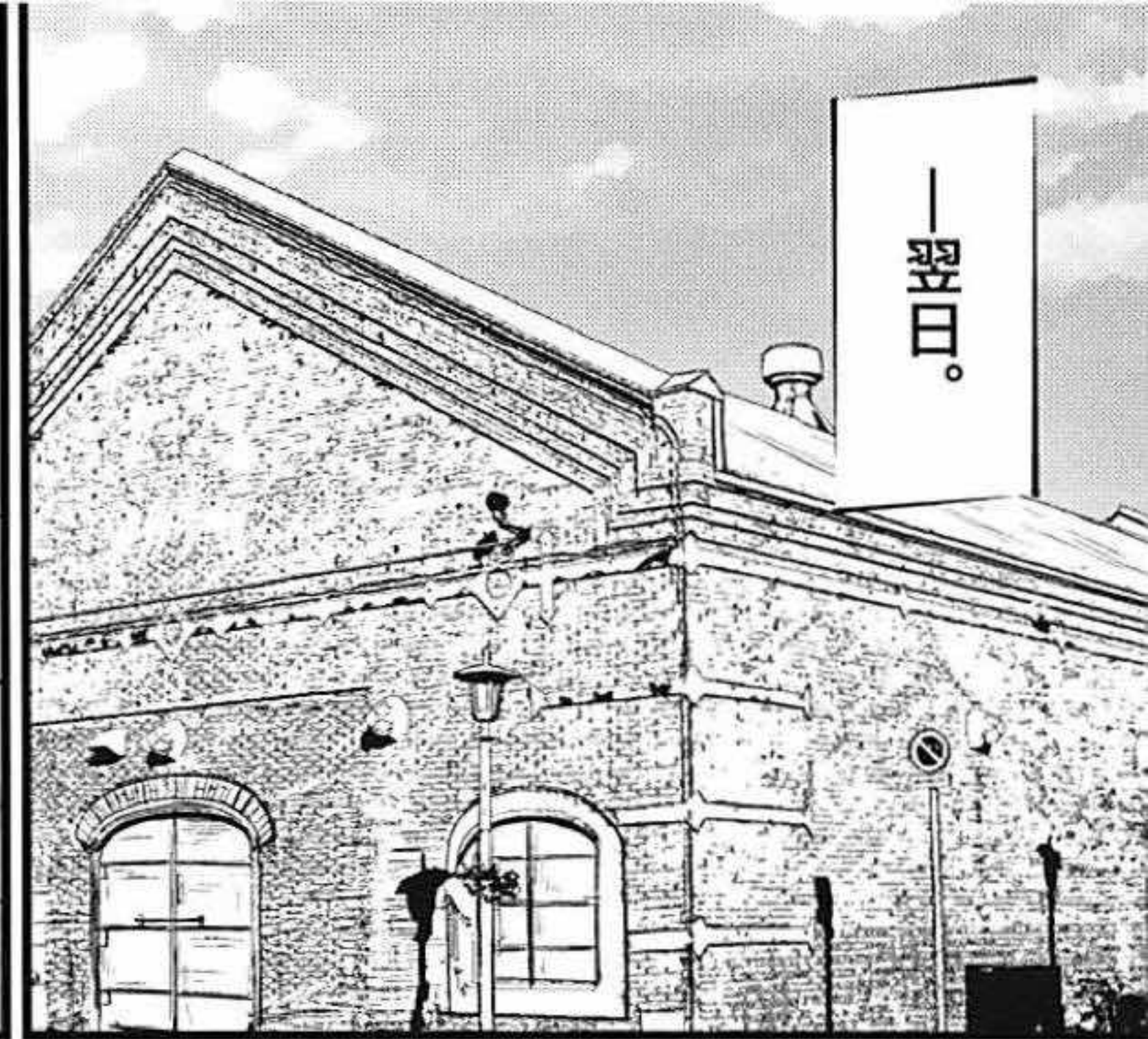


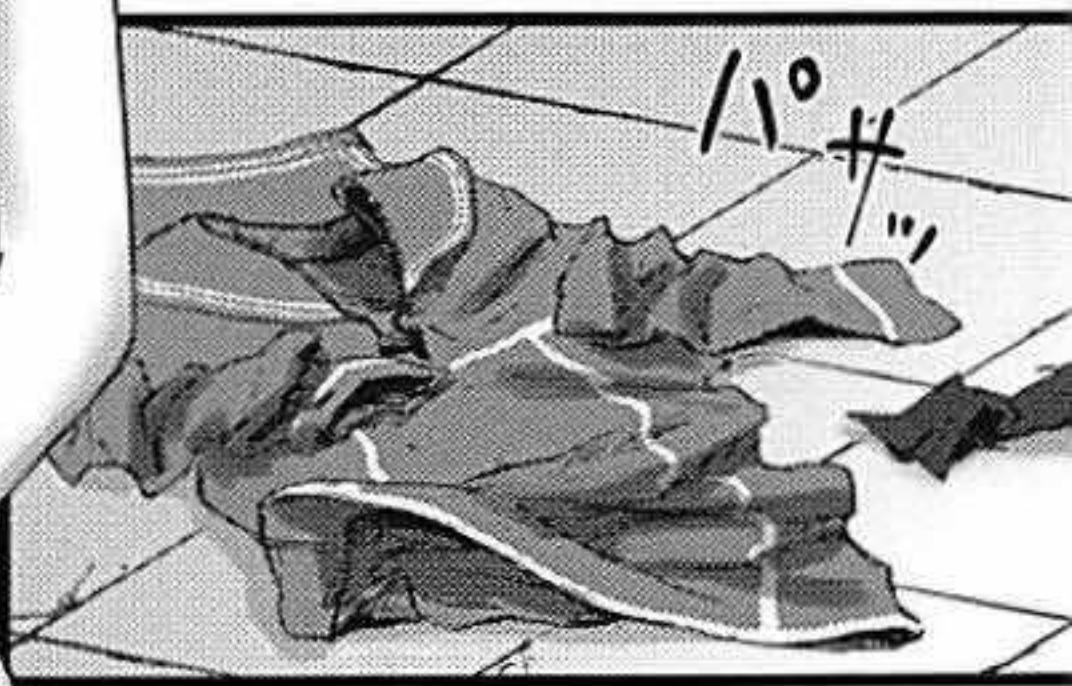




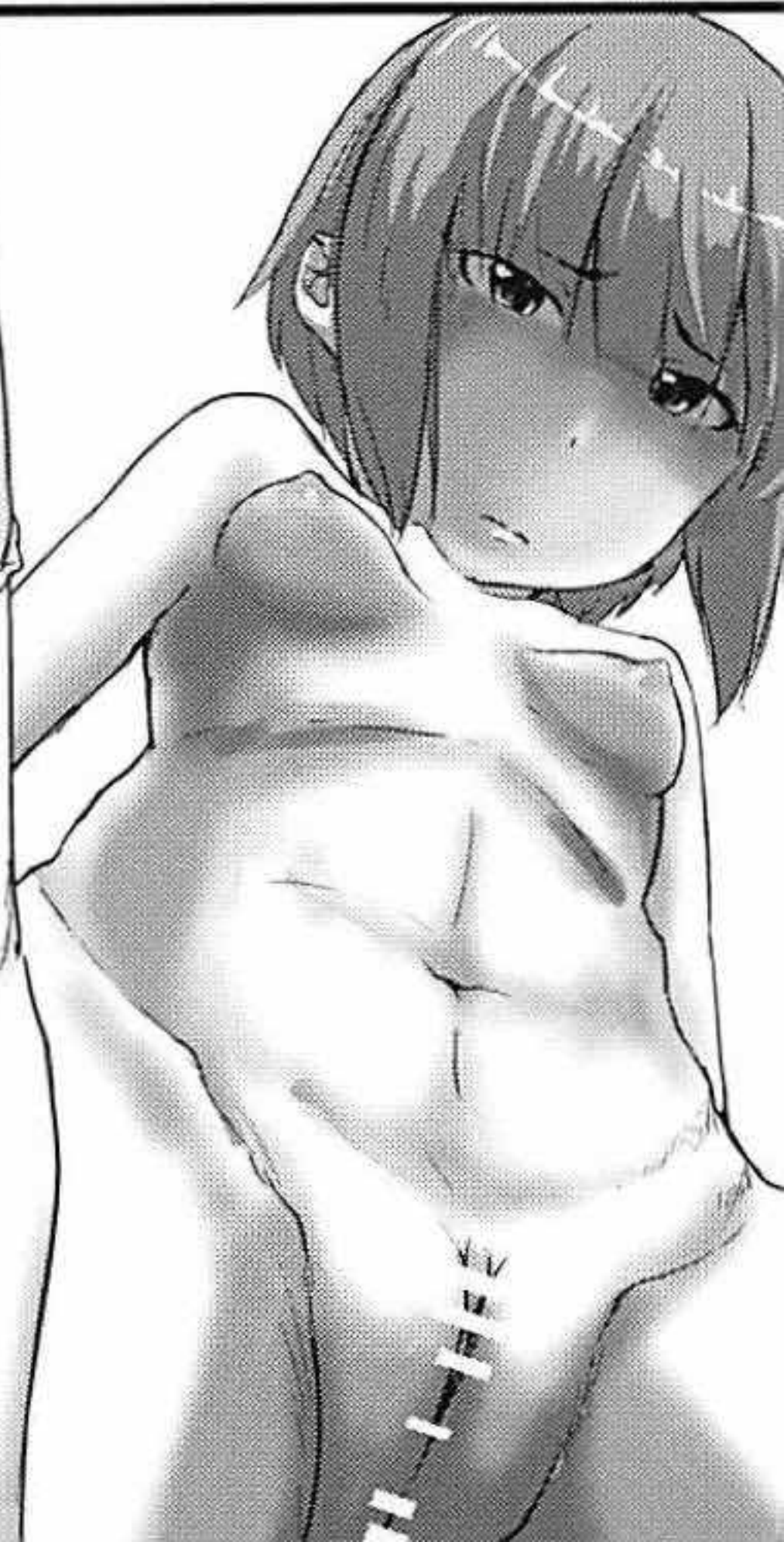








もうだめ...
考えただけでこんなに
なっちゃったの







こっちも、もう限界...
やつ...私、広げちゃってる
こんなのって...恥ずかしいのに

もう...!
おっぱいばかり
なんだから

にちゃ...?









あーあー

ギョッ
ギョッ
ギョッ
ギョッ

ま、待って...!
いい今は敏感だからっ!

ブルブル

ブルブル

ブルブル









■あとながき

初めての方は、初めまして。また来てくれた人は、お久しぶりです！
ム〇（ミュー）と申します。

2017年冬、新刊を落としてからはや半年。今、2018年夏の締切一日前に立たせています。

今年は新刊出せるぞ！やったね！

とはいっても、ひたすらに苦戦しました…。

今回は、マックスと深海棲艦の残骸から出てきたショタっ子のおねショタ本です。

タイトルの「UMAX」はUMA（未確認生物）とMAXをかけて、この二人が〇っくすするというトリプルミーニングでつけたのでした。

（某RAMで有名な企業とは一切関係ないです！）

導入部分に出てくる、深海棲艦の機雷の残骸を吊り下げてるところ。あれは完全にUMA「ニューネッシー」の例の写真のパクリです。気になる人はググってみてね！

と、まあ毎回本を作るときは、細かいネタをぶち込むのを楽しみにしていたりいなかったり。

今回、マックスでH本出すのは初めてです…。リビドーが溢れてしまって…導入長めに描いたけど、H本はエッチしてればいーかな。次回からは、フルバーストエッチにします。

一般向けのマックスを楽しみにしてしてくれた人は申し訳ない。

ちなみに「我が鎮」シリーズの彼女たちとは、関係ないのでC(^ω^)つ ｷﾀｯ!! 別の世界線なので！

「我が鎮」シリーズもよろしく！ 近日総集編作成予定！ 嘘っ！

2018年8月吉日 ム〇

落丁乱丁などありましたら、奥付のメールアドレスまでご連絡下さい。

※；対応可能期間はイベントでの入手後1週間とさせていただきます。

※；対応可能品は各イベントで入手した冊子に限ります。



■謎の設定資料コーナー (ページが余った)

○少年A

本作お相手役。

深海棲艦の遺物から出てきた謎の少年。

未だかつてこのようなケースで発見された生物はなく、未確認生物として扱われている。

深海棲艦に捕食された人間の男の子供だったのか、はたまた前例のない男(の身体を模した)の深海棲艦なのか。

彼の知能は人間で言うところの5,6歳と判断される。日本語の識字・発声は共に不可であるが、絵文字などによる意思の疎通は可能であるようだ。

=真相=

実のところ彼は、深海より生み出された深海棲艦の一人。

艦娘に取り憑き、その精神を支配する兵器として開発された新型。

本来は、機雷の形状で艦娘に襲いかかり取り憑くはずであるが、核として使われた男児の身体形状が保たれたまま発達してしまっただけのために、今回のようなケースとなった。

○マックス・シュルツ

みんなのマックス。私のマックス。かわいいマックス。

責任感が強く、真面目で努力家。

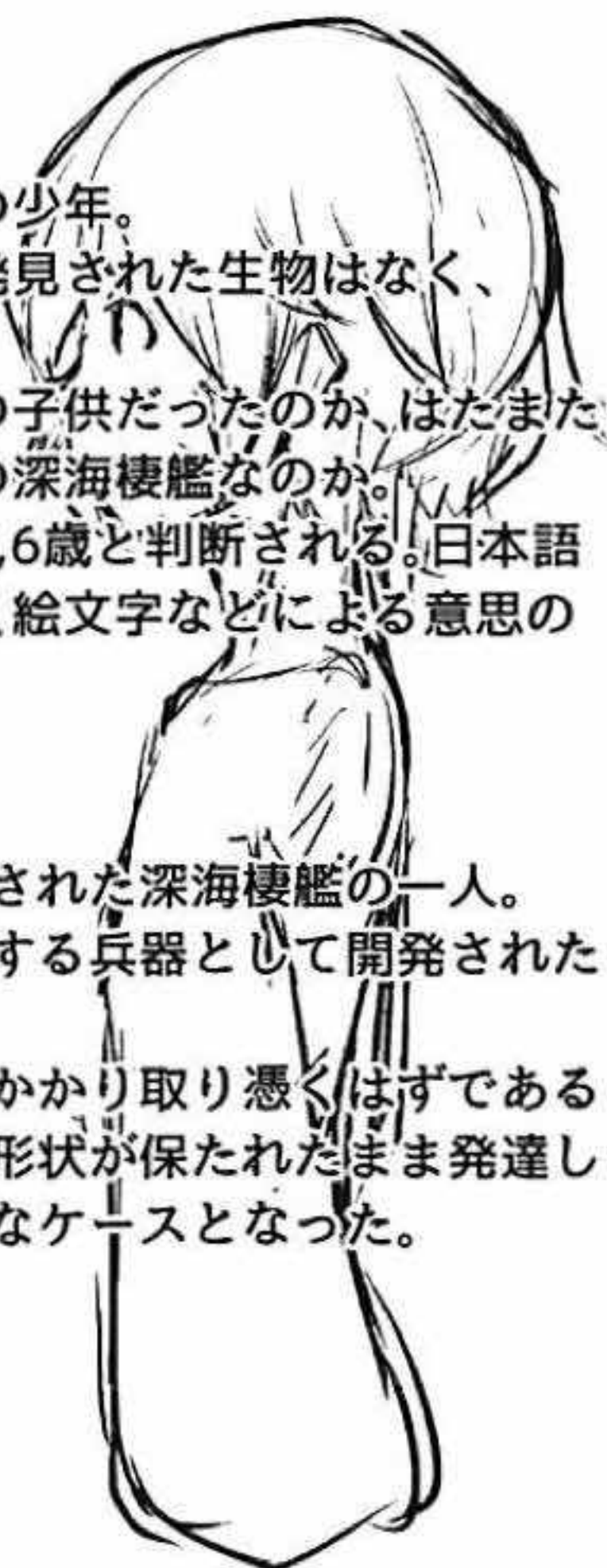
口数は少ないが、言うときははっきり言うタイプ。努力とは裏腹に結果がついてこないことがしばしば。艦隊戦においてもその努力が、結果に出ないことをコンプレックスとして感じている。

今回の一件も、仲間のミス在必死に取り返そうとしたが、逆に不可解なものを持ち帰ってしまった。さらには、自分が「彼」を連れてきてしまったことに責任を感じ、自分で面倒を見ようとする。

「それ」を口に含んでしまい、抑えきれなくなってしまった性衝動を彼に向けてぶつけてしまう。

すべては、深海の思惑通りなのか。知る由もない。

みたいなことを考えて描いています!!!



■ボツ絵コーナー (ページが余った)



■その他絵コーナー (ページが余った)





UMAX -ユーマックス-

発行日

2018年8月10日(C94 1日目)

発行

サークル : SI Prefixes 著者 : μ 。

連絡先

E-mail : siprefixes.contactline@gmail.com

Twitter: [myu_dot](https://twitter.com/myu_dot) (私的アカウント注意)

pixivID:848497

印刷会社

STARBOOKS様



COMIC MARKET 94
KANTAI Collection Fan Book



SI
PREFIXES